

環境対策「ESG」は企業経営に どのような影響があるか そのメリットは！ 対応により企業の将来は！

農林水産省の
補助により
実施しています

無料

食品産業においては、地球温暖化対策として関係団体がCO₂削減等の数値目標を設定した低炭素社会実行計画を策定するなど自主的な取組を進めており、効果的・効率的な省エネルギー対策などによる温室効果ガス削減の取組を積極的に進めていくことが重要です。また、世界的にESG投資が拡大し、我が国においても企業の環境・社会配慮に係る取組状況への関心が高まっています。経団連も国連が定めた「持続可能な開発目標」(SDGs)を念頭に企業行動憲章を改訂し活動を推進しています。

本セミナーでは、第1部の基調講演において、ESG投資の流れを踏まえて中小企業が過半を占める食品関連企業の環境対策のポイントや今後の持続可能な企業経営の「あり方」について解説をします。

第2部では、低炭素社会実行計画を策定している4業種(製粉協会、日本ハンバーグ・ハンバーガー協会、日本スターチ・糖化工業会、日本ビート糖業協会)の省エネルギー対策等の取組についての調査報告として「取組に至る経緯」、「設備対応」、「導入コスト等」の優良事例を具体的に紹介いたします。

持続的な企業経営において環境対策は「待ったなし」の所に来ています。このセミナーで先取りしてください。

ESG：環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の3要素の総称。

企業の長期的な成長には、Environment(地球環境の問題に対する取り組み)、Social(社会的な課題の解決に向けた取り組み)、Governance(顧客・株主・従業員といったステークホルダーに対するCSR(企業の社会的責任))が必要とする考え方。ESGに配慮した企業は、長期的に成長、発展していく優良な企業として社会的な信用を得る。

SDGs：国連が2015年に策定した、今後の持続可能な社会に向けた世界の目標の共通言語ともいえるもの。

注目の講演

なぜ中小企業にESGが必要なのか。第一人者がわかりやすく解説します。

こんな方にお勧めします。

食品企業の経営者、CSR・IR責任者、経営企画・広報責任者、税務(財務)担当者・税理士・中小企業診断士・行政に携わる方など。

開催日程

開催日	会場	定員	申込期限
12月6日(木)	【大阪会場】大阪産業創造館(大阪市中央区)	75名	12/3
12月12日(水)	【札幌会場】わくわくホリデーホール(札幌市中央区)	75名	12/10
1月16日(水)	【福岡会場】福岡県中小企業振興センター(福岡市博多区)	75名	1/10
2月5日(火)	【東京会場】フォーラムミカサエコ(東京都千代田区)	75名	2/4

プログラム

時間	講演内容
13:30～	受付開始
14:00～14:05	開会・主催者挨拶
14:05～15:00	基調講演「普及するESG 食品産業の取るべき行動は!～SDGsも活用する新たな経営戦略～」
15:00～15:10	休憩
15:10～16:00	調査報告「脱炭素社会に向けた取り組みの現状・20の優良事例報告」
16:00	閉会

講師

基調講演 笹谷秀光 氏 (大阪会場・東京会場 担当)

(株)伊藤園でCSR体系の導入、SDGs（持続可能な開発目標）を組み込んだCSR/CSV（共通価値の創造）経営を推進したほか、現在様々な企業でのESG/SDGsコンサルティングにも対応。1977年農水省入省、環境省大臣官房審議官、農水省大臣官房審議官、関東森林管理局長を経て伊藤園に入社。経営企画部長、CSR推進部長、取締役、常務執行役員を経て現伊藤園顧問。サステナビリティ日本フォーラム理事、日本経営倫理学会理事。



基調講演 高橋一伸 氏 (札幌会場・福岡会場 担当)

JF（日本フードサービス協会）環境委員会において「外食産業における食品リサイクルマニュアル」を中心となり作成。食品産業の環境問題に関する第一人者。ESGに関する講演多数。一般社団法人日本フードサービス協会環境委員会委員・日本マクドナルド(株) コーポレートリレーション本部 CSR部。



事例報告 佐藤 卓 氏 (全会場 担当)

中小企業診断士（情報部門）として食品産業が勝ち残るツールとして「情報の高度利用を積極的に推進」。豊富な知識に裏付けられた講演は、来場者に直接響く「言葉を選び」、「語りかけ」、「わかりやすい」、「聴いてよかった」など絶大な評価を受ける。官邸が中心となり進める産業界の「生産性向上」の取り組み（平成29年度）に関し食品分野での調査員、講師として携わるなど業界の第一人者。杏林大学 総合政策学部 非常勤講師。



食品産業の地球温暖化・省エネルギー対策促進セミナー 参加申込書

FAX : 03-5809-2183

■ 受講会場（該当項目に✓してください）：

☐ 大阪会場（12/6） ☐ 札幌会場（12/12） ☐ 福岡会場（1/16） ☐ 東京会場（2/5）

■ 会社名：

■ 部署・役職名：

■ 氏 名：

■ 参加人数：計 人

■ 住 所：〒

■ TEL：

■ FAX：

■ E-mail：

申込方法および留意事項等

- ▶ 上記の参加申込書にご記入の上、申込期限までに FAX（03-5809-2183）にてご送信ください。また、関連サイト（<http://www.ofsi.or.jp/savingenergyseminar/>）からも直接お申込みいただけます。
- ▶ ご記入いただいた個人情報、当機構が実施するセミナーの開催に関する目的以外には使用しません。
- ▶ お申し込み受付後、受講票を e-mail または FAX で返信します。

お問合せ先

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構 担当：田中・杉本

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-4-5 第一東ビル

電話：03-5809-2176 FAX：03-5809-2183



<http://www.ofsi.or.jp/savingenergyseminar/>